

令和4年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

商工労働課

1 施設の概要等

施設名	府中市羽高湖サン・スポーツランド		
所在地	広島県府中市諸毛町3000番地		
設置目的	勤労者に野外スポーツ活動施設等を提供し、体力の増強と余暇活動の充実を図ることを目的とする。		
施設・設備	管理棟、倉庫、多目的グラウンド、ローラースケート場、テニスコート、スカイサイクル(利用中止中)、体力増強施設、駐車場、多目的グラウンド及びテニスコート照明施設		
指定管理者	R4.4.1	～	R5.3.31 一般財団法人府中市まちづくり振興公社

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	R4	10,000 人	17,133 人	7,851 人	7,133 人	171.0 %
R5	15,000 人					
R6	15,500 人					
R7	16,000 人					
R8	16,500 人			- 人		
増減理由	コロナ禍によるイベント中止等がなくなり、野球大会やフェスティバルが令和元年度ベースで再開されたため。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	現地担当者の業務日報により管理。 予約やキャンセル等は担当者で引き継ぎ、修繕や改善要望などは事務局と市担当課で協議。	入場者数に準ずる。
	【主な意見】	【その対応状況】
	園内の木が倒れそう。園内の遊具が壊れている。(キャンプ場側) グラウンドの野球用ネットが破損している。	担当課と協議し、木は伐採済み。遊具、すべり台は修繕済み。ブランコは費用が高いため協議により撤去済み。 ネットは修繕した。

4 市の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	
	月報	×	
	日報(必要随時)	○	設備等の破損故障
管理運営会議		【特記事項等】	
0回 会場		なし	
現地調査 (実施月)		【指定管理者の意見】	
1月 2月 3月 4月 5月		修繕発生時や運営に疑義が生じた都度に会議を実施している。	
6月 7月 8月 9月 10月		【市の対応】	
11月 12月		設備の破損故障等が生じた場合は、現地調査を実施。	

5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	5,546	156		R4	1,609	402
R5			R5				
R6			R6				
R7			R7				
R8		-	R8		-		

6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R3決算額	R4決算額	対前年度比	主な増減理由等
委託事業	収入				
	市委託料	5,390	5,546	156	職員昇給等
	料金収入	1,207	1,609	402	コロナ禍の施設閉鎖終了
	その他収入	13	31	18	
	計(A)	6,610	7,186	576	
	支出				
	人件費	2,253	2,337	84	職員昇給等
	光熱水費	723	810	87	電気料金高騰
	設備等保守点検費	537	530	-7	
	清掃・警備費等	14	10	-4	
施設維持修繕費	252	499	247		
事務局費	0	0	0		
その他支出	1,721	1,991	270		
計(B)	5,500	6,177	677		
収支①(A-B)	1,110	1,009	-101		
自主事業	収入(C)	13	0	-13	テニス大会雨天中止
支出(D)	52	0	-52		
収支②(C-D)	-39	0	39		
合計収支(①+②)	1,071	1,009	-62		

※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	<p>コロナ感染症の基準緩和により、3年ぶりにほぼ通常の施設運営となった。グラウンド等の利用人数も令和元年度ベース近くに回復している。施設は、観光施策強化の方針により令和5年度より府中市観光協会に移管し、今後、運営強化が図られる状況である。</p>	<p>施設の維持管理について、適切に行われている。利用者数については、新型コロナウイルス感染症の基準緩和により、施設利用者数もコロナ前の水準を取り戻しており、当初の目標値を超え、目標達成率は171%と好調である。</p>

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	<p>キャンプブームは依然、根強い状況のなか、老朽化して使えないトリムコースやスカイサイクルなどが放置された状態。テニスコートもひび割れ等が発生しており全体的な見直しや大規模修繕が必要な時期がきている。管理者が変更となるので運用面とともにハード面も強化が必要。</p>	<p>サンスポーツランドは、観光施設(キャンプ施設)として一体的な位置づけとし、管理は観光課へ移管する方向で検討する。その際、サンスポーツランド施設のうち、移管後も継続的な使用をするもの、新たな活用方法を検討するもの、廃止するものに仕分けし、キャンプ施設として利便性を高める手法を探る。</p>